

とひの かふち



《学校だより》 第2号

令和6年5月17日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 加藤 佳代

学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」

一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー



見渡せば、萌える新緑が勢いを増し、濃い緑色へと向かっているように見えます。同時に虫も出てきているようで、登校した子が握った手をそうっと広げるとそこには小さなダンゴムシがいました。うるう年の今年は、5月5日に「立夏」を迎え、暦の上では夏になりました。1年生が「園長先生」ではなく、「校長先生」と呼んでくれるようになるのも毎年この頃からです。

新年度から1ヶ月余り経ち、少しずつ学校のリズムにも慣れ、学習やささまざまな活動が進められています。新緑のように、子どもたちもさまざまな面で勢いを増し、成長する姿を見せてくれることでしょう。期待しながら職員みんなでしっかり見守っていきます。

4月の朝会（人権朝会）で・・・



湯河原町では、年度が変わる4月を「人権教育月間」に設定し、さまざまな教育活動の中で人権を意識した活動を、意図的に取り入れるようにしています。

本校では、4月の初めの朝会を「人権朝会」とし、校長が人権に関わる話をしています。今回は、1年生にも興味をもって聞いてもらえるように、左の写真にある「りんごがたべたいねずみくん」（作：なかえよしを、絵：上野紀子）の本の読み聞かせをしました。

「誰にでも、その人なりの持ち味や良さがあります。全部なんてできなくていい、たった一つでも、他の人が持っていないもの、得意なことが必ずあるはず。皆さんも、ねずみくんのように自分の良さを見つけて、そこを好きになって豊かな気持ちになってほしいです。」とメッセージを送りました。

ありのままの自分を受け入れて大切にできること、さらには他人の存在をありのままに認められる子に育ててほしいと願っています。

外国語教室をつくりました

今年度B棟4階に「外国語教室」をつくりました。昨年度末、5年生が台湾の小学校とオンラインで交流をした時に、世界の国旗などが掲示されている教室に子どもたちが入れ替わりで来るのを見て、空き教室だった部屋を「外国語教室」としました。



外国語専科の大杉先生からは、子どもが自分の教室から外国語教室に来るまでに気持ちの切り替えをすることができる、掲示物等で外国語を学ぶ雰囲気のある教室で学べる、各教室へ移動するたびにタブレットのセッティングをしなくても済むのですぐに授業が始められるなどかなり好評です。何事も雰囲気は大事です。外国語を学ぶ雰囲気のあるこの空間で、楽しみながら外国語に慣れ親しんで欲しいと願っています。

教育相談コーディネーター

お子様の学校生活における学習・生活面、友人との関わり等、気になることや心配なことがありましたら、遠慮なく担任や養護教諭、管理職等誰でも結構ですので相談のお声をかけてください。

学校には相談窓口の一つとして、「教育相談コーディネーター」という役割の職員がおります。

今年度も昨年度に引き続き、宝子山周子総括教諭と松見万里子総括教諭が教育相談に応じています。



教育相談の充実により前期通知表所見に代えます！

4/25のPTA 総会の際にお伝えした通り、今年度から「夏休み前の教育相談を充実させることで、前期の通知表の所見に代える」ことにしました。後期はこれまで通り（文章での）通知表所見とします。

その理由としましては次のとおりです。

○所見記載欄には制限があり、文章なので誤解のないようにと考えると内容も限られる。また、所見は学校からの一方向的なものになる。

○例年夏休み前に全保護者を対象に教育相談を行っており、所見と異なって保護者の皆さんからの悩みや希望などを出していただくなど、双方向のコミュニケーションが取れている。

○教育相談をより充実させることで、日々の支援や指導の中で子どもへの声かけ等をより大事にすることができると。

○教育相談でお伝えする内容と重複することが多くなるため、前期通知表の所見を省略する。

このような取組はすでに数年前から近隣の市町でも進められています。湯河原町3小1中で足並みをそろえて進めていきますので、どうかご理解いただきますようお願いいたします。

なお、定期的な教育相談として、本校では5月に家庭訪問（原則全家庭）、7月（全員）、12月（希望者）を計画していますが、ご希望があれば随時行いますので、担任や教育相談コーディネーターを窓口にご遠慮なくお声かけください。

1年生をむかえる会

4月23日（火）に1年生を迎える会を行いました。1年生が6年生と手をつないで入場した後、第2校歌をみんなで歌い、人数集めゲームをしました。「グループに必ず1年生を入れること」というルールを取り入れ、1年生を中心に、いろいろな学年の子と交流できる工夫をして楽しみました。



立場が人をつくる・・・

1年生に早く学校に慣れてもらおうと、6年生が朝の支度を手伝ったり、一緒に掃除をしたりする活動をしています。よく「立場が人をつくる」と言いますが毎年この取組を見ているとこの言葉が頭に浮かんできます。1年生に「ありがとう」と言われることで、6年生は自己有用感を得ることが出来ます。人との関わりをもてる活動を大事にしていきたいです。

